

万引防止を訴える店内放送用アナウンスの協力依頼

万引犯罪の実態

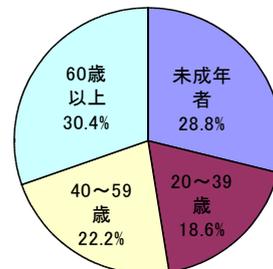
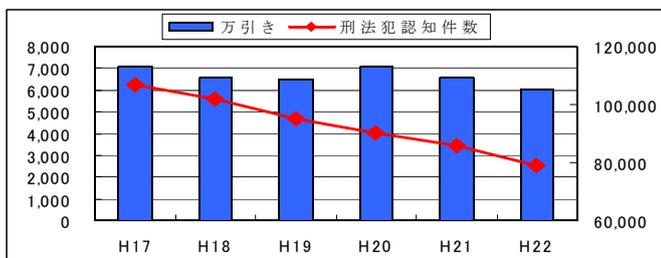
【大人社会に蔓延する万引】

これまでの万引きは、好奇心やスリルを求める少年による犯行が顕著で、少年非行の入り口と捉えられていました。

しかし、現在では高齢者をはじめとする大人の犯罪へと変貌しています。

過去5年間の万引きの推移

万引き被疑者の年齢（H22）



【凶悪犯罪への入り口犯罪】

「たかが万引き」という意識から万引きに手を染め、万引きを繰り返すうちに罪悪感が薄れ、凶悪・悪質な犯罪にエスカレートする入り口犯罪となっています。

なぜ万引防止に取り組むのか？

【規範意識の向上】

万引きが各年代に蔓延し、社会全体の規範意識が低下していることが更なる犯罪の呼び水となっていることから、規範意識向上に取り組む必要性があります。

【社会の絆づくり】

社会に対して、孤独感や閉塞感を感じる高齢者が、万引きを犯してしまうケースがあることに加え、秩序違反（ポイ捨て、路上喫煙など）を目にしても注意できない地域社会の自浄能力の低下を払拭するために、入り口犯罪である万引きに社会全体で取り組み、連帯感や絆を復元しようとしています。

これまでの万引防止対策

【万防連を中心とした官民一体の取り組み】

福岡県では、小売業者、県、教育庁、県警が協働して万引防止に取り組む福岡県万引防止連絡協議会（万防連）が中心となって、万引きされにくい店舗環境の整備、児童・生徒に対する万引防止教育の実施、ポスター制作などの活動を行っています。

今年も、「福岡県万引防止県民大会」の開催や協議会のホームページ開設などの広報啓発を重点的に推進しています。



万防連からの提案



★ 店舗利用者の聴覚に訴える万引防止対策

- ・ 視覚に訴える対策に加え、店舗内でのアナウンスにより、聴覚に訴えるメッセージを伝える
- ・ 県民の認知度が高く、耳障りがソフトな徳永さんから心に響くメッセージを伝えていただく

★ 万引防止に取り組む気運の向上

- ・ 万防連加盟店舗で、利用者が多い時間帯にアナウンス放送を行うことで、万引防止気運の向上を図る
- ・ 県民への影響力が高い徳永さんからのメッセージは、県民の規範意識の向上効果が高い

